

日英LGBT ユース エクスチェンジ プロジェクト (YEP) 公開交流プログラム

～ LGBTユースと仲間たちの“希望”宣言☆～

日時：2008年8月24日(日)10:00開場 10:30～16:30

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟 国際会議室



イギリス・ブリストル市「Freedom Youth」のメンバー7人(16歳～22歳のLGBTユース)と、ブリストル市役所のサポートスタッフ3人を迎え、日本の当事者や支援者たちとのあいで、LGBTユースに関する話し合いをします。

※ブリストル市は「LGBTユース」の支援に力を注いでいるまちのひとつです。

●タイムテーブル

- | | |
|--------|--|
| 10:30～ | ごあいさつ/YEPの紹介
イギリスのLGBTをとりまく状況について
日本のLGBTをとりまく状況について
Rainbow College、イギリス パフォーマンス |
| 12:15～ | <ランチタイム> |
| 13:00～ | ユースワークショップ報告(20、21、23日に都内で行われました) <ul style="list-style-type: none">・自分自身について・カミングアウト・学校生活・ホモフォビア、トランスフォビア、社会のなかのLGBT・セクシュアル・ヘルス、HIVについて |
| 14:20～ | <休憩> |
| 14:30～ | グループディスカッション |
| 15:15～ | グループディスカッション報告、ユースによるスピーチ |
| 15:30～ | 交流会 |
| 16:30 | 終了 |



●日英LGBT ユース エクスチェンジ プロジェクト(YEP)とは

- ◇ 日本とイギリスの若者たちが「LGBT」をテーマに交流(エクスチェンジ)しあう場をつくるプロジェクトです。
- ◇ LGBTとは、レズビアン(L)、ゲイ(G)、バイセクシュアル(B)、トランスジェンダー/セクシュアル(T)の略称を合わせた言葉。同性が好きだったり、同性と異性のどちらかに関係なく誰かを好きになったり、自分の性についての表現が周りとはちょっと違ったり、自分の体の性がしっくりこなかったりする人たちのことをいいます。
- ◇ ユース(youth)とは英語で「10代から20代前半までの若者」のことをいいます。

●プロジェクトの計画

イギリス側では、ブリストル市役所ユースアンドプレイサービスはLGBTの若者グループ「Freedom Youth」を運営しており、このグループのメンバーと援助スタッフが中心となって本プロジェクトを運営しています。日本側では、国際基督教大学ジェンダー研究センターを窓口として日英LGBT ユース エクスチェンジ プロジェクト実行委員会を設置し、ブリストル側と相談しながら計画を進めています。

2008年1月	日本からブリストルへの下見、打ち合わせのための訪問
2008年5月17日 ～23日	ブリストルから日本への下見、打ち合わせのための訪問 プロジェクトPRのためのイベント実施(5月18日、東京)
2008年8月18日 ～31日	ブリストルから日本への訪問(ユース8名、スタッフ3名) 交流ワークショップ(8月19日～22日) 公開イベント(8月24日)
2009年4月 もしくは8月(予定)	日本からブリストルへの訪問
2009年以降	インターアクティブなウェブサイトによる交流の継続

●支援金のお願い

本プロジェクトはこれからも継続的に続け、今度は日本のユースをイギリスに送りたいと思っています。そのためにイギリス側でも日本側でも、さまざまな助成団体に助成金申請を行なっていますが、まだ資金が足りていないのが現状です。イギリスではブリストルのゲイの国会議員ステファン・ウィリアムズ、レズビアン
のブリストル市議エマ・バグリーなど、本プロジェクトを支援する大人達がさまざまなところで寄付者を募り、Freedom Youth のメンバー自身も本プロジェクトの周知と資金調達のためのイベントを企画・実行しています。日本でも、本プロジェクトを支援して下さる個人、企業、団体からの資金援助を広く求めています。**支援金は一〇万円から、何口でもかまいません。今後ともどうぞお力をお貸しください。**

支援金の振込先	三菱東京UFJ銀行 武蔵境支店(普) 1770584 日英LGBT ユースエクスチェンジプロジェクト
---------	---

主催:	日英LGBT ユース エクスチェンジ プロジェクト実行委員会 事務所所在地:国際基督教大学ジェンダー研究センター内 〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2 ERB 301 TEL&FAX:0422-33-3448 セクシュアル・マイノリティーズ・インカレ・ネットワーク Rainbow College
コーディネーター:	国際基督教大学ジェンダー研究センター(CGS) / Bristol City Council Youth and Play Services
後援:	ブリティッシュ・カウンシル
助成:	英国ブリストル市役所ユースアンドプレイサービス / グレートブリテンササカワ財団 / Youth Opportunity Fund(英国政府) / 財団法人 倶進会 / 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業(研究代表者:加藤 慶・横浜国立大学)
協力:	ピアフレンズ / レインボーカラーアクセサリー & 雑貨 shop L&G Timpani / NHK 福祉ポータル「ハートネット」 / “共生社会をつくる”セクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク / パフスペース / ラブピースクラブ / デルタ G / LOUD / CreateMedia Online / ピープルズ・プラン研究所 / 有限会社スタジオリック / プレリユード / 東京国際レズビアン & ゲイ映画祭
賛同:	NPO 法人アカー / ゲイジャパンニュース / GiDmedia / G-FRONT 関西 / 有限会社アップリンク
ロゴデザイン:	渡部文
寄付を頂いた方:	石田仁、加藤悠二、川口清史、木村真紀、金城理枝、榊和子、沢辺均、大光寺、田中和子、田中真奈、筒井陽子、東洋百貨店、平田俊明、平野遼、プライド in 香川、山下敏雅、ESTO (50音順、8月23日確認分、匿名等を除く)

●14:30～からのグループディスカッションの進行について

ここでは、参加者のみなさまにグループで分かれて話をさせていただきます。

1. 話したいテーマを選んでください。

- ①自分自身について
- ②カミングアウト
- ③学校生活
- ④ホモフォビア、トランスフォビア、社会のなかのLGBT
- ⑤セクシュアル・ヘルス、HIVについて

2. テーマごとに部屋の中で移動してください(スタッフがテーマを書いた目印を持っています)。

人数が多い場合は同じテーマを複数のグループで分かれて話し合います。

3. グラウンドルールに基づき、プロジェクトのファシリテーターがグループの進行をします。

●グループディスカッションのグラウンドルール

1. 自分を含めた参加者全員を尊重する。

あなたの居心地の良さと、周りのひとたちそれぞれにとっての居心地の良さについて、折り合いをつけていきましょう。あなたの安心感・安全感を守るのと同様に、同じ場にいるひとたちの安心感・安全感も尊重しましょう。

2. 自分がもっともリラックスできるスタイルで参加する。

「礼儀正しくしなきゃ」と気負ったり、極端に遠慮して縮こまる必要はありません。あなたにとって一番くつろげる姿勢で参加してください。また、わからない言葉が話の中で出てくれば、聞いてみてください。

3. 自分の考えかたを周囲に押し付けるような語りかたをしない。

「～べきだ」とか「〇〇とはこういうものだ」というような一般論や常識としてではなく、「わたしはこう思う」と個人の考えを述べるようにしましょう。

4. ひとの話を途中でさえぎったり、批判したりしない。

だれかの意見を「間違っている」と指摘するのではなく、「わたしは違う意見を持っています」と述べるようにしましょう。自分にもほかのひとに対しても、「良い／悪い」の評価はしないこと。

5. 言いたくないことは無理に言わない／言わせない。

このイベントは公開イベントです。自分についての情報開示レベルは、自分でコントロールしましょう。「大勢の前では話しにくいけれど、でもだれかに話したい」と思ったことは、交流会で信頼できる相手と個別に話したり、アンケートに書いてスタッフに伝えてください。

6. 気分が悪くなったら我慢せずに、自分がもっとも落ち着く方法をとる。

この場にいることがしんどいと思ったら、トイレに行ってもいいし、外に出て気分転換をするのもOKです。できることなら、どうしてしんどくなったのか、そばにいるひとかスタッフにはこっそり伝えてほしいです。

7. 時間の限りがあることを理解してください。

ディスカッションの時間は限られています。なるべく多くのかたがまんべんなく語れるよう配慮しいましよう。また、終了予定時間を過ぎるとファシリテーターが話を切り上げるかもしれません。

●日英LGBT ユース エクスチェンジ プロジェクトが生まれた経緯

グローバル化、さまざまな情報手段の発達により、世界はどんどん小さくなってきていると言われはじめてから久しく時が経ちました。インターネットに接続すれば、さまざまな情報が行き交い、多くの人が個人レベルでの情報発信をおこなっています。LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)の人たちを取り巻く環境も、ここ5年でずいぶん変わってきました。イギリスではあらゆる場における性的指向による差別の禁止が法制化され、同性パートナーにも結婚と同様の法的権利が認められるようになりました。日本でも性同一性障害、レズビアンを公言する議員があらわれ、さまざまなLGBTのグループの活動も活発化してきています。

しかし、こういった変化の中、また、情報過多とも言われる社会において、LGBTの若者たち、LGBTではないかと思う若者たちにとっては、LGBTとしての自分を受け入れることの助けとなるような情報や人との出会いはなかなかありません。むしろ、同性愛、性別規範を超えることに対するネガティブな情報にさらされることが多く、LGBTである自分、LGBTであるかもしれない自分をそのまま受け入れることは依然として困難です。そして、こういったネガティブな情報と教育現場でのLGBTの若者に対するサポートの欠如が、ホモフォビア、トランスフォビアによるいじめを助長しています。

ある調査によると、調査対象となったゲイ、バイセクシュアル男性の64%が若年期にいじめを経験し、15%が自殺を試みたと報告されています(Hidaka et al: 2005)。また、イギリスでもLGBTの人たちの65%が学校でいじめを経験しています(Stonewall: 2007)。文化の違いを超えて、多くのLGBTの若者が生きづらさを感じています。しかし同時に、こういった困難さに負けることなく、LGBTの若者としてそれぞれの場で偏見を理解に変えようと努力をしている若者たちも多くなります。若者に限らず、すべてのLGBTの人たちが人権を保障され、生きやすい社会を作ってゆこうとする動きの中で、こうした若者たちのイニシアティブは大きな可能性を秘めています。

こういった社会状況をふまえ、LGBTの若者をサポートするため、国際基督教大学ジェンダー研究センターと英国ブリストル市役所ユースアンドプレイサービスのパートナーシップにより、日英LGBT ユース エクスチェンジプロジェクトが発足しました。

●本日の注意事項

◇ リボンについて(取材撮影メディア対応について)

本イベントには、各メディアの取材および撮影が入ります。参加者のみなさまのプライバシーに配慮するため、以下の方法で対応いたします。ご協力をお願いいたします。

- 1) 映像・写真撮影OK(リボンなし)
- 2) 顔出しはしない(モザイク処理で映像ができることはOK) →リボン**黄色**を身につけてください
- 3) 撮影は一切受けつけない(および未成年者) →リボン**青色**を見につけ、撮影禁止エリアにご着席ください

* リボンを必要とする方で、お持ちでない方は受付にいらしてください。

撮影については取材受付をし、腕章をつけた方のみ撮影可能です。それ以外の方の撮影はご遠慮ください。

◇ ユース(おもに未成年者)のメディア露出について

未成年のかたのメディア対応については、保護者や所属学校などのサポートが確実に得られる場合のみ受け付けます(保護者の承諾書が必要です。受付にご提示ください)。

主催者側としては、ご本人の希望になるべく沿いたいと考えておりますが、万が一、保護者の承諾なしに未成年のかたが顔出し撮影を選択し、なんらかのトラブルが発生したとしても、主催者は一切責任をとることができませんので、あらかじめご了承ください。